

横浜および東京で自動車専用船等の見学会を開催

日本船主協会は、『「海の日」特別行事実行委員会』が 20 回目の「海の日」を記念して展開する「海でつながるプロジェクト」の一環として、この夏、「船ってサイコ～せんきょう夏休みキャンペーン」と銘打ち、船に親しんでいただくための様々なイベントを展開しています。

その一環として、日本郵船株式会社、郵船クルーズ株式会社および独立行政法人 航海訓練所のご協力の下、2015 年 7 月 20 日（月／祝日）に横浜で「自動車専用船・客船・帆船 船内見学会」を、翌 21 日（火）に東京で「自動車専用船・帆船 船内見学会」を、それぞれ開催しました。



東京・晴海に停泊中の自動車専用船



自動車専用船見学風景（横浜）

横浜での見学会には約 580 名が、東京での見学会には約 430 名がそれぞれ参加、一般の方々が普段は立ち入ることのない自動車専用船（日本郵船「APHRODITE LEADER」）の貨物艙やブリッジ、帆船（航海訓練所「海王丸」および「日本丸」）の船内を見学した他、横浜では客船（日本郵船「飛鳥Ⅱ」）の内部を案内されました。また、東京での見学会には、操船シミュレーターも設置され、東京湾内でのリアルな操船体験を楽しむ姿が見られました。

見学会の参加者からは、各船のスケールの大きさに驚いた様子が感じられ、船内見学や船長をはじめとする乗組員との触れ合いを通じ、わが国の暮らしや経済を支える外航船への興味が一層高まったことが窺えました。

引き続き当協会は、人々の日々の生活を支える外航船や内航船を広く知ってもらうための活動を継続して参ります。



操船シミュレーター体験（東京）